

飛騨高山まちの博物館と飛騨高山まちの体験交流館について

高山市教育委員会 文化財課

三町などの伝統的な町並みや高山城跡、飛騨匠の技を見ることのできる寺社建築、また高山祭屋台など、多くのすぐれた遺産の伝えられる飛騨高山の歴史文化を知り、また体験できる2つの施設「飛騨高山まちの博物館」と「飛騨高山まちの体験交流館」について、その概要や主な事業を紹介いたします。

1. 飛騨高山まちの博物館 TEL:0577-32-1205

飛騨高山まちの博物館は、高山市上一之町に位置し、城下町高山の歴史や、美術工芸、伝統文化を見ることのできる、市営の施設です。

その前身は高山市郷土館であり、戦後の混乱期の中で、文化財や民俗資料の流出を防ぎ保存し、展観できる施設を望む声がおこり、昭和28年に、苦しい状況の中で多くの人々の寄付などの好意により、旧永田家の土蔵群を展示室として活用し、開館をしたものです。

平成20年に、郷土館に隣接する旧矢嶋家の敷地建物を高山市が取得し、歴史的風致の維持向上に寄与すべく、高山市郷土館の拡大整備を行い、平成23年4月に飛騨高山まちの博物館としてオープンしました。この際、新たに取得した旧矢嶋家の土蔵群とあわせて一体で展示室として活用すべく整備を行い、各土蔵の展示室をつなぐ通路の整備や、新たに特別展示室、美術展示室、研修室なども設けました。入館者数も平成31年度には年間19万5千人を超えるに至っています。

また市内外の小中学校の修学旅行等での見学や、高山の歴史や祭についての郷土の調べ学習、体験学習等での利用も増加しています。

【常設展示】

常設展示では「高山の町並と飛騨匠」「高山祭」「城下町高山」「金森氏六代」「伝統工芸（一位一刀彫、飛騨春慶等）」「美術」「信仰（円空仏）」「学問・文芸」などのテーマにより展示を行い、飛騨の匠に始まり、城下町高山のなりたちや、高山の文化や芸術等を深く知ることのできる内容となっています。

【特別展の開催】

特別展を年4回程度開催しており、令和4年度には県博物館移動展「いつでも防災一次の“その時”に備えよう」や「飛騨、風雲急なり！—蘇る中世飛騨の群雄—」等を開催し、また学制発布150年にあたり「時代と飛騨の教育」の開催も進めています。

特別展では、関連する記念講演会を開催し、動画も配信するなど、展示の内容等についてより多くの方に興味をもっていただけるような取り組みも行っています。

【講座の開催】

市民や観光客の高山市の歴史に対する理解を深める「語り部」として活躍いただくことにより、生きがいつくりにつながることを目的として、「語り部養成講座」を定期的に行っています。令和4年度には、飛騨地方の曲木家具の変遷、乗鞍岳と笠ヶ岳の自然と歴史、料亭洲さきについての講座のほか、野外編として空町や江名子川付近を散策しながら地域の歴史を学ぶ講座を開催しまし



た。講義の内容については一部動画配信等も行っています。

【ボランティアガイドの養成】

市民の皆さんに、飛騨高山まちの博物館でのガイド活動を通じて高山の歴史や文化への理解を深めいただくとともに、高山の魅力を広く伝えていただくことを目的として、平成24年度にボランティアガイドが始まりました。ガイドの公募を行い、当初は9名でしたが、令和4年度には23名の方が登録され、飛騨高山まちの博物館での施設の案内のほか、勉強会や情報交換会なども行っています。



2. 飛騨高山まちの体験交流館 TEL:0577-70-8290

飛騨高山まちの体験交流館は、飛騨高山まちの博物館の向かいに位置し、伝統文化や地場産業の振興、市民の方や観光客の交流を図ることを目的に整備した市営の施設です。歴史的な建物を活用した施設内で、伝統工芸の実演を見ることや伝統文化の体験ができます。



実演・体験の内容としては、国指定伝統工芸品である一位一刀彫や、日本遺産の構成資産でもある有道しゃくし、小屋名しょうけ、またさるぼぼづくりや組紐の作成などを行い、**市外からの小中学校や高校による教育旅行等での利用も多く、たいへん好評を得ています。**

この施設の敷地は、以前は森家という豪商の所有地であり、高山市図書館の敷地として利用されていたこともありましたが、平成20年に、高山市歴史的風致維持向上計画が国の歴史まちづくり法により全国第一号の認定を受けることとなり、その後、歴史的風致を向上させるための拠点施設の整備が計画の中に盛り込まれることとなりました。

旧図書館周辺の土地購入や、建物の整備がすすめられ、平成30年7月に飛騨高山まちの体験交流館としてオープンしました。平成31年度には年間約16万8千人の入館者があり、体験の実績も年間7千人近くに至っています。

当初は市の直営での施設運営を行っていましたが、実演体験の充実、きめ細やかな観光案内、イベント広場の活用など、民間のノウハウを活かすことで、より施設の利活用の充実を図るべく、令和4年度より民間の指定管理者により施設の管理が行われています。

施設が高山の伝統文化や歴史的風致の中心となる地域にあり、飛騨高山まちの博物館との施設の相互利用や、博物館の学制150年記念特別展に関連した体験事業を体験交流館で行うなど、両施設の連携した事業の取組みを進めています。

